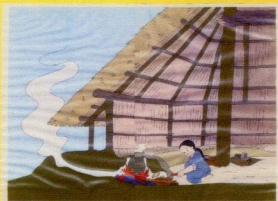


### カマドの場合



①古墳時代の草むら（1600年～1500年前）から家の中の壁ぎわにカマドが作られるようになりました。

IV-5-①



②長い前焼火をたいていたあとは土が赤くなっています。

IV-5-②



③半分だけ掘ってみると、煙道（煙を外に出すための煙突のようなもの）が分かります。

IV-5-③



④土を取り除くと、火をたいたあとや粘土で作ったカマドのあとが分かります。

IV-5-④